

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置運営事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about emergency notification system installation and maintenance.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '新規設置台数', '70歳以上のひとり暮らし高齢者数', and '緊急通報利用回数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費).

Table comparing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) with a total of 6,539.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a list of main activities: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置運営事	事務事業No.	20602000012	所属課	高齢福祉課
-------	------------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ひとり暮らし高齢者が、病気や災害のとき、緊急に連絡が取れるようにするため、平成3年開始した。 ひとり暮らし高齢者が増え、緊急通報システムの申請件数も増加している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 緊急通報システムを設置したことにより、安心して生活できる。(利用者)
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	ひとり暮らし高齢者の在宅生活で緊急時の支援を目的とした事業であるため、高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	在宅のひとり暮らし高齢者が、安心した日常生活を送れるように火災・急病等の緊急時に備えた、通報手段を確保することは、社会問題となっている孤独死対策であるため、市が事業を実施することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	新規設置希望者に設置し、より多くの利用者が緊急時に援助要請を行えるようにすることにより成果向上の余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	本体からの通報方法の他、自宅敷地であればペンダント発信機による援助の要請ができ、火災発生時にもセンサーが感知すると消防署に自動で通報するため、ひとり暮らし高齢者の緊急時の援助要請手段として必要な事業であるため廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 類似事業がなく、統廃合・連携ができない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は緊急通報システム機器の新規設置費及び定期点検・撤去・耐用年数を超過した機器の交換等の維持管理費であるため、設置者に対し維持管理ができなくなるため事業費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	設置対象者は、市内に在住するおおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者であり、申請に基づき審査し設置しているため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	緊急通報システムを設置したことにより、別居の親族及び本人とも安心感をもてることにつながり、事業継続は必要である。平成27年度は新規15台設置し、緊急連絡先の更新・施設入居者などの洗い出しと管理台帳の整理を行ったことで、管理経費を削減できた。しかし、まだ利用者(親族)との連絡が途絶えてしまい、取外しが困難な事例も発生している。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 利用者(親族)との連絡が途絶えてしまい、取外しが困難な事例が発生しているので設置時に本人ばかりでなく、親族への説明を徹底する。また、現在、無料で設置しているが一部自己負担等により、設置者の意識改革をする必要があると思われる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果	③																						
コスト削減優先度評価結果	④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>